

# 病虫害防除技術情報第17号

平成30年3月22日  
三重県病虫害防除所

**果樹カメムシ類の越冬量が多い状況です！  
4月以降の圃場への飛来に注意してください！**

- 1 対象作物：果樹全般
- 2 対象病虫害名：果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ)
- 3 発生状況(越冬量)：多い
  - (1)越冬量調査では、チャバネアオカメムシの越冬量が多く、過去10年間で3番目となっています(表)。
  - (2)クサギカメムシの越冬量は平年並で過去10年間では5番目ですが、2016年、2017年と比べると3倍程度となっています(表)。
  - (3)ツヤアオカメムシは、昨年秋の発生が多く、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシの越冬量調査の際にも確認されたことから、本種の越冬量も多いと考えられます。

表 果樹カメムシ類越冬個体数調査

**a.チャバネアオカメムシ越冬量調査**

調査地点\調査年月	単位:頭											10年平均
	2008.3	2009.3	2010.2	2011.1	2012.1	2013.1	2014.1	2015.1	2016.2	2017.1	2018.2	
津市白山町二本木 (スギ、ヒノキ林)	3	2	4	0	1	0	1	1	0	0	5	1.2
津市白山町川口 (スギ、ヒノキ林)	0	1	9	0	17	1	13	9	0	0	3	5.0
松阪市大阿坂町 (広葉樹林)	1	0	0	0	4	1	27	1	0	1	14	3.5
松阪市小阿坂町 (ヒノキ林)	0	2	6	3	2	2	36	28	0	6	11	8.5
平均	1.0	1.3	4.8	0.8	6.0	1.0	19.3	9.8	0	1.8	8.3	4.6
採集地点率(%)	50	75	75	25	100	75	100	100	0	50	100	65.0

※1地点あたり1㎡範囲内の落葉を3カ所採取し(計3㎡)、捕獲した数を計測。  
※調査は、例年1月～3月に実施。

**b.クサギカメムシ越冬量調査**

調査地点\調査年月	単位:頭											10年平均
	2008.2	2009.3	2010.2	2011.1	2012.1	2013.1	2014.1	2015.1	2016.2	2017.1	2018.1	
津市白山町二本木 (スギ、ヒノキ林)	6	3	14	3	17	1	12	9	7	4	6	7.6
津市白山町川口 (スギ、ヒノキ林)	52	23	174	23	294	8	658	543	46	38	172	185.9
南伊勢町船越 (カンキツ園)	2	1	33	0	5	0	55	5	4	30	27	13.5
御浜町志原 (カンキツ園)	0	1	1	0	1	0	3	10	1	0	3	1.7
平均	15.0	7.0	55.5	6.5	79.3	2.3	182.0	141.8	14.5	18.0	52.0	52.2
採集地点率(%)	75	100	100	50	100	50	100	100	100	75	100	85.0

※越冬小屋(0.6m×0.6m×1m)に入った数を計測。  
※例年小屋の設置は10月上旬。1月～2月に回収調査を実施。

#### 4 防除上の注意事項

- (1) 例年、予察灯(松阪市)への初飛来は、チャバネアオカメムシが4月下旬、ツヤアオカメムシが5月中旬、クサギカメムシが6月上旬です。
- (2) 4月以降の気温の上昇に伴い、山林から離れて圃場に多数飛来する可能性があります。
- (3) 降雨がなく気温の高い夜に飛来(移動)が多いので、夜間の街灯への飛来に注意したり、圃場を見回ったりして、早期発見に努めてください。特に、山林に近い圃場では注意してください。
- (4) 薬剤散布はカメムシ類の飛来を確認してから実施してください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。